

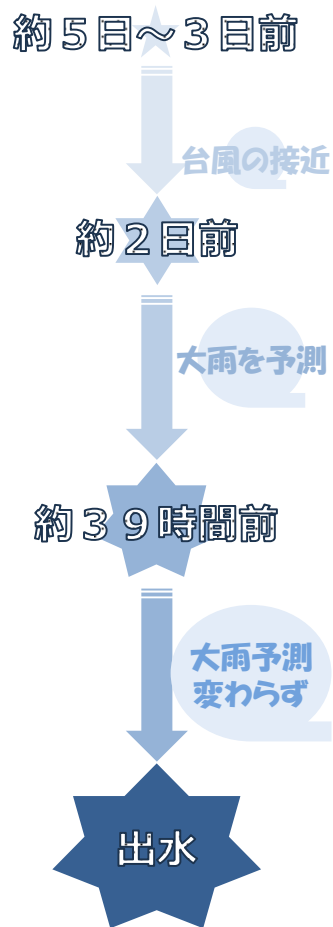
# 流域タイムラインについて

令和8年4月27日

関川・姫川大規模氾濫に関する減災対策協議会  
関川・姫川流域治水協議会

- 令和3年5月に災害対策基本法が見直され、避難勧告・避難指示が一本化されることになったほか、令和3年10月には国土交通省防災業務計画が見直されました。
- これらの動向を踏まえ、河川流域での連携強化を図ることを目的に、これまで各関係機関が個別に策定してきた避難情報(勧告)着目型タイムラインを統合し、かつ、災害発生の可能性が生じた段階まで範囲を前倒した「関川・姫川流域タイムライン」を、令和5年9月より試行運用開始。令和6年3月から本運用を始めました。

## 気象情報等

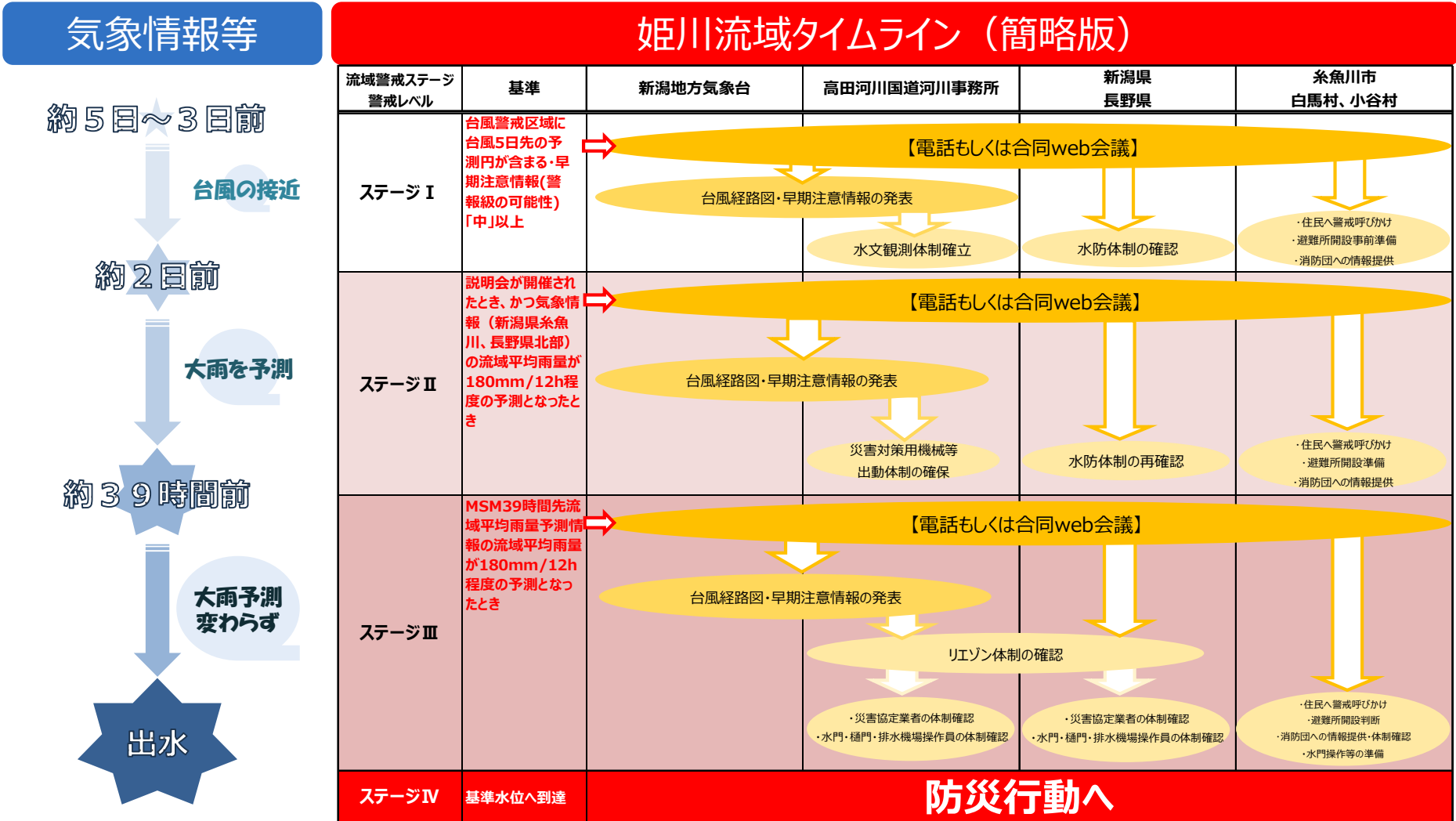


## 関川流域タイムライン (簡略版)

流域警戒ステージ 警戒レベル	基準	新潟地方気象台	高田河川国道河川事務所	新潟県 長野県	上越市 妙高市
ステージⅠ	台風警戒区域に 台風5日先の予 測円が含まる・早 期注意情報(警 報級の可能性) 「中」以上	→	→	→	→
		【電話もしくは合同web会議】			
		台風経路図・早期注意情報の発表	水文観測体制確立	水防体制の確認	・気象情報の収集 ・消防団への情報提供
ステージⅡ	説明会が開催され たとき、かつ気象情 報(新潟県上越) の流域平均雨量が 115mm/12h程 度の予測となった とき	→	→	→	→
		【電話もしくは合同web会議】			
		台風経路図・早期注意情報の発表	正善寺ダム、笹ヶ峰ダムの 事前放流の予測降雨量確認・体制	正善寺ダムの事前放流の判断 (放流開始)	河川、水路等の点検準備
			災害対策用機械等出動体制の確保		
ステージⅢ	MSM39時間先 流域平均雨量予 測情報の流域平 均雨量が 115mm/12h 程度の予測となっ たとき	→	→	→	→
		【電話もしくは合同web会議】			
		台風経路図・早期注意情報の発表	リエゾン体制の確認	正善寺ダムの事前放流 及び目標水位維持放流	・消防団の体制確認 ・排水ポンプ設置及び業者待機指示
			・災害協定業者の体制確認 ・水門・樋門・排水機場操作員の体制確認	・災害協定業者の体制確認 ・水門・樋門・排水機場操作員の体制確認	
ステージⅣ	基準水位へ到達	防災行動へ			

★関係機関におかれましては、上図のとおり、流域タイムラインの各ステージ毎に高田河川国道事務所から【合同WEB会議】開催のご連絡をさせていただきますので、日頃より気象情報等にご留意いただき、連絡があった場合に速やかな会議開催が可能なよう、ご準備の方、よろしくごお願いいたします。

- 令和3年5月に災害対策基本法が見直され、避難勧告・避難指示が一本化されることになったほか、令和3年10月には国土交通省防災業務計画が見直されました。
- これらの動向を踏まえ、河川流域での連携強化を図ることを目的に、これまで各関係機関が個別に策定してきた避難情報(勧告)着目型タイムラインを統合し、かつ、災害発生の可能性が生じた段階まで範囲を前倒した「関川・姫川流域タイムライン」を、令和5年9月より試行運用開始。令和6年3月から本運用を始めました。



- ・令和6年3月の本運用開始以降、初めて流域タイムラインを発動。
- ・令和7年8月11日13:00に流域タイムラインを発動し、流域警戒ステージⅠに移行。Web会議を開催。
- ・関川水系 二子島、顕聖寺、遊水池外水位(いずれも新潟県管理区間)で水防団待機水位を超過。
- ・その後、ステージⅡ以上には移行せず、令和7年8月12日16:00に流域タイムラインを解除。

【表2. 流域警戒ステージの設定基準】

各段階での防災行動の目標	ステージ区分	各ステージ設定のための気象情報・水位情報（基準）		備考
段階①: 災害発生の可能性があり、その危険性について関係機関内で共有する段階	流域警戒ステージⅠ	台風	・台風警戒区域に台風5日先の予測円が含まれ、かつ早期注意情報(警報級の可能性)「中」以上が発表されたとき	
		前線	・早期注意情報(5~3日先の警報級の可能性「中」以上の発表情報)が発表されたとき	
段階②: 災害発生の可能性が高く、その危険性の高まりについて関係機関で共有し、防災対応の方針を定める段階	流域警戒ステージⅡ	関川	台風	・気象台台風説明会が開催されたとき、かつ気象情報(新潟県上越)の流域平均雨量が115mm/12h程度の予測となったとき※
			前線	・気象台前線による大雨説明会が開催されたとき、かつ気象情報(新潟県上越)の流域平均雨量が115mm/12h程度の予測となったとき※
		姫川	台風	・気象台台風説明会が開催されたとき、かつ気象情報(新潟県糸魚川、長野県北部)の流域平均雨量が180mm/12h程度の予測となったとき※
			前線	・気象台前線による大雨説明会が開催されたとき、かつ気象情報(新潟県糸魚川、長野県北部)の流域平均雨量が180mm/12h程度の予測となったとき※
段階③: 災害発生の可能性が極めて高く、その危険性を関係機関で共有し、防災対応を開始する段階	流域警戒ステージⅢ	関川	＜台風・前線共通＞ ・MSM39時間先流域平均雨量予測情報の流域平均雨量が115mm/12h程度の予測となったとき	
		姫川	＜台風・前線共通＞ ・MSM39時間先流域平均雨量予測情報の流域平均雨量が180mm/12h程度の予測となったとき	
段階④: 災害の要因となる事象が発生しており、その状況を共有し、防災対応を実施する段階	流域警戒ステージⅣ	＜台風・前線共通＞ ・流域内の水位観測所で水防団待機水位に到達したとき		

※1. 12h 予測値が入手できない場合は、気象台発表の気象情報の24時間予想降水量(上越)を代用して判断します。

※2. 流域警戒ステージ設定基準は、既往洪水における台風進路及び実績雨量等から決定しています。